

平成 29年 6月 1日

し ょ う よ う

松陽

太陽のように
まぶしい笑顔で
元気一杯の松陽寮!

第110号

<発行> 広島県立障害者療育支援センター 松陽寮
発行責任者 小家石 龍次
739-0133 東広島市八本松町米満 198-1
TEL 082-428-6671
FAX 082-428-6670
URL <http://www.ryoiiku-hiroshima.gr.jp>
E-mail [syoyou@hiroshima-wsc.jp](mailto:syouyou@hiroshima-wsc.jp)



異動挨拶

平成29年度の人事異動で7年振りに療育支援センター総務課に勤務することになりました湯浅と申します。

事務長という重責をどこまで十分果たすことが出来るか不安な気持ちですが、リニューアルされた施設で、気持ちも新たに、初心に帰って「元気で・明るく・生き生きと」をモットーに頑張っていきたいと思っております。

定年退職まであと2年。笑顔で定年を迎えたいと思っていますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

事務長 湯浅 英治



異動に伴って

この度の人事異動でわかば療育園から松陽寮の第4支援課に異動となりました。

事業団に入って、福山若草園・わかば療育園と重症心身障害の施設を経験させていただき、今回初めて知的障害者の施設で働くこととなりました。

今までの利用者の方と支援方法が違い、戸惑うこともたくさんあります。しかし、利用者の方にとって、より良い支援をすることは施設が違って変わりません。慣れるまで大変だとは思いますが、少しでも早く利用者の方により良い支援を提供できるよう頑張っていきたいと思っております。

4ファミリー（第4支援課） 森 亮介



研修を終えて

初めて実務研修を任された時は、自分が本当にできるのか？大丈夫なのか？と考えてしまい、不安・緊張感を抱えることとなりました。しかし、一緒に研修に取り組んだ後輩や相談に乗ってくれた先輩方のおかげで少しずつ自信を付け、実務研修に臨むことができました。発表後の講評では「良くできていた。」などのコメントを頂き、達成感・感動を覚えました。しかし研修に取り組む中で新たな支援の課題点が表出し、自分がまだまだ通過点にいる段階であることを改めて知ることができました。

今後も今回の研修を通じて見えたことを活かし、QOLの向上に繋がる支援に努めていきたいと考えています。

3ファミリー（第3支援課）杉原 貴大



グループホームの休止

平成19年10月よりスタートしたグループホームですが、平成29年の3月をもってグループホーム「たいよう」と「ひまわり」は休止となりました。

地域支援課「おはよう」でのお別れ会では、一人ひとり「ありがとうございました」と力強い口調で挨拶していました。会の最後には、グループホームメンバーの大好きな、氷川きよしの「ズンドコ節」を、おはようの利用者と一緒に歌い、感極まって号泣し、職員に「ありがとう」と抱き着いている利用者の方もいました。

現在では、松陽寮のリニューアルした新しい部屋での生活に胸膨らませながら、新生活をスタートしています。

地域支援課 大澤健治



お花見

4月11日、お花見の予定でしたが、残念ながら当日はあいにくの雨、各課で室内で行うことになりました。

第3支援課では、お花見の代わりに「カラオケ大会」を行いました。食堂や廊下に桜の花を飾り、春らしい雰囲気 연출しました。利用者の皆さんはそれぞれ「ああ人生に涙あり」や「北国の春」等、各自の持ち歌を熱唱！聴きながら手拍子する人、笑顔で聴く人など、皆さん思い思いに楽しんでいました。カラオケ後は、豪華なお花見弁当と和菓子を頂き、楽しい時間を過ごしました。

3ファミリー（第3支援課） 田村 恭子

エンジョイクラブ誕生

今年度より、エンジョイクラブがスタートしました。前回はスポーツクラブでした。

利用者の高齢化に伴い、もっとスポーツを楽しめるように、体力に合わせたプログラム提供ができるようにと名称と内容変更により誕生しました。

年4回の外出（カープ観戦2回、ボウリング2回）や歩行、スポーツDVDを鑑賞していくクラブになります。

利用者さんの状況に応じたスタイルをとりながら楽しんで頂けるように行っていますので今後ともよろしくお願ひします。

1ファミリー（第1支援課） 渡邊 博成

行事予定

6月 4日 課別懇談会
環境整備

7月29日 平岩夏祭り

編集後記

これから暑い夏がやってきます。
CARP 連覇と日本一を信じて、皆さん
「元気に・明るく・いきいきと」をモットーに、頑張っていきましょう。